

平成30年度日本スポーツ少年団
活動計画

1. 指導者養成・研修

| 内容・開催期間等 | 開催場所 | 参加対象・参加条件・経費等 |
|--|--|--|
| 1) スポーツ少年団認定育成員研修会 北海道会場 平成30年10月13日(土) 宮城県会場 平成30年11月17日(土) 東京都会場① 平成30年10月14日(日) 東京都会場② 平成30年11月3日(土) 石川県会場 平成30年11月10日(土) 大阪府会場 平成30年11月3日(土) 香川県会場 平成30年10月20日(土) 福岡県会場 平成30年11月23日(金・祝) | 全国8会場 北海道立総合体育センター(北海きたえーる) TKP仙台カンファレンスセンター 国立オリンピック記念青少年総合センター 国立オリンピック記念青少年総合センター いしかわ総合スポーツセンター ホテルマイステイズ大阪コンファレンスセンター 高松センタービル TKP博多駅前シティセンター | ・資格有効期限が平成31(2019)年3月31日および9月30日までの者で、少年団登録を継続し、現在も認定育成員として活動している者 <以下の者についても参加を可能とする> * 資格有効期限が平成30(2018)年3月31日および9月30日までの者で、何らかの事情により平成29(2017)年度の研修会に参加できなかった者(本研修会に不参加の場合、資格喪失となる) * 資格有効期限が平成32(2020)年3月31日および9月30日までの者で、何らかの事情により平成31(2019)年度の研修会に参加が困難な者 * 上記以外のスポーツ少年団登録指導者で、公認スポーツ指導者資格を保有する者(定員に達した場合は、認定育成員資格保有者を優先する) ・参加料は1人2,160円 ・旅費は自己負担 |
| 2) スポーツリーダー養成講習会 兼スポーツ少年団認定員養成講習会 一委託300コース(予定)一 平成30年4月1日(日)～平成31年2月28日(木) | 都道府県にて実施 | ・参加者は、平成30年度スポーツ少年団登録指導者および次年度登録が見込まれる者 ・参加料は1人2,160円(下限) |
| 3) 第1回ジュニアスポーツフォーラム 平成30年6月17日(日) | 東京都・ホテルグランドパレス | ・参加対象者はスポーツ少年団登録指導者400名及び各都道府県リーダー代表者1名、リーダー育成担当者1名、ジュニアスポーツに関わる法律実務家・研究者及び公認スポーツ指導者資格保有者 ・参加料は1人2,160円 ・旅費は自己負担 |
| 4) 幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及促進 【普及講習会】 平成30年5月～平成31年2月(予定) | 全国9会場(予定) | ・参加者はスポーツ少年団関係者、日本体育協会公認スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブ関係者、幼稚園・保育所等関係者、教育委員会関係者等(各会場100～120名程度を予定) ・参加料は1人2,160円 ・旅費は自己負担 |
| 【講師講習会】 平成30年5月～平成31年2月(予定) | 全国3会場(予定) 東地区 中地区 西地区 | ・参加者は都道府県スポーツ少年団から推薦された者(原則各県3名) ・各会場50名程度 ・1泊2日 ・参加料は1人4,320円 ・交通費、宿泊費は自己負担 |
| 【都道府県普及促進研修会】 一委託70コース(予定)一 平成30年4月1日(日)～平成31年2月28日(木) | 都道府県にて実施 | ・参加者はスポーツ少年団関係者、日本体育協会公認スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブ関係者、幼稚園・保育所等関係者、教育委員会関係者等(最低10名以上/1コース) ・講師は、原則として幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講師講習会受講修了者とする ・幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラムに関する講義、運動遊び、指導法・指導技術に関する実技、その他(ディスカッション等)3時間以上 ・1人最低500円(上限なし・実施団体において必要額を徴収する) |

2. 指導者協議会

| 内容・開催期間等 | 開催場所 | 参加対象・参加条件・経費等 |
|---|-----------------------------|--|
| 1) 全国スポーツ少年団指導者協議会 平成30年6月15日(金)～16日(土) | 東京都・ 国立オリンピック記念青少年総合センター | ・指導者協議会等代表1県1名 ・参加料は無料 ・本会旅費基準により交通費を支給 |
| 2) ブロック指導者研究協議会 一組織整備強化(助成)一 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日) | 各ブロックにて開催 | ・各ブロックにおいて実施要項を作成 ・参加者はスポーツ少年団登録指導者を対象とし、具体的にはブロックにおいて定める |

3. リーダー養成・研修

| 内容・開催期間等 | 開催場所 | 参加対象・参加条件・経費等 |
|--|----------------------------------|--|
| 1) シニア・リーダースクール 平成30年8月9日(木)～13日(月) | 静岡県・ 国立中央青少年交流の家 | ・平成30年度登録団員 ・義務教育終了者で20歳未満のジュニア・リーダー認定者又は所定の活動単位数を満たした者(全国140名)。高校生以上の団員登録数比例配分により、各都道府県の参加枠を決定 ・参加料は1人16,200円 ・本会旅費基準により交通費を補助 ・宿泊、食事等経費は本会負担 |
| 2) ジュニア・リーダースクール 一組織整備強化(助成)一 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日) | 都道府県にて実施 | ・都道府県において実施要項を作成 ・参加者は小学校5年生以上中学生までの者 ・所属市区町村スポーツ少年団本部長の推薦を受けた者 |
| 3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会 平成30年6月16日(土)～6月17日(日) ※6/17(日)は、ジュニアスポーツフォーラムへの参加 | 東京都・ 国立オリンピック記念青少年総合センター 他 | ・各県リーダー代表者1名およびリーダー育成担当者1名 ・参加料は無料 ・本会旅費基準により交通費を補助 ・宿泊、食事等経費は本会負担 |
| 4) ブロックリーダー研究大会 一組織整備強化(助成)一 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日) | 各ブロックにて開催 | ・各ブロックにおいて実施要項を作成 ・参加者はブロック内都道府県スポーツ少年団リーダー会代表者およびリーダー育成担当者 |

4. 国内交流

| 内容・開催期間等 | 開催場所 | 参加対象・参加条件・経費等 |
|--|---------------------------|--|
| 1) 第56回全国スポーツ少年大会 平成30年8月2日(木)～5日(日) | 茨城県・行方市 茨城県立白浜少年自然の家 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・1県5名、指導者1名(計288名) ・平成30年度に団員登録をし、開催年の4月1日現在、中学1年生以上高校3年生相当の年齢の者。ただし、ジュニア・リーダー資格を有しており、かつ、所属の都道府県スポーツ少年団本部長が特別に推薦する場合に限り、小学6年生の者でも参加を認める。 ・指導者は認定育成員または認定員であること ・参加料は1人 12,960円 ・大会旅費基準により交通費(指導者・団員ともに片道)を補助 ・宿泊費、食事代は主催者負担 ・参加者は交歓記念品として500円程度の民芸品を準備 |
| 2) 第40回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 平成30年7月28日(土)～31日(火) | 長崎県 長崎県営野球場他 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度登録団員・指導者 ・チーム編成:指導者2名、団員14名(小学4～6年生)【同一単位団所属】 ・指導者(代表指導者・引率指導者)は認定育成員または認定員であること ・参加チーム数16チーム(計256名) (北海道1、東北2、関東2、北信越1、東海2、近畿2、中国2、四国1、九州2、開催地1) *参加チームはブロック内で決定 ・参加料は無料 ・交通費は自己負担 ・宿泊費、食事代は主催者負担 ・参加者は交歓記念品として500円程度の民芸品を準備 |
| 3) 第41回全国スポーツ少年団剣道交流大会 平成31年3月27日(水)～29日(金) | 山口県・山口市 維新百年記念公園 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度登録団員・指導者 ・指導者は認定育成員または認定員であること ・指導者1名、団員7名(計384名) ・団体戦:男女計5名(小学校4～6年生)【同一市区町村スポーツ少年団所属】 ・個人戦:男子(中学生1名)、女子(中学生1名) ・参加料は無料 ・交通費は自己負担 ・宿泊費、食事代は主催者負担 ・参加者は交歓記念品として500円程度の民芸品を準備 |
| 4) 第16回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 【女子】平成31年3月28日(木)～31日(日) 【男子】平成31年3月28日(木)～30日(土) | 大分県・別府市 べっぶアリーナ他 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度登録団員・指導者 ・チーム編成:指導者2名、団員12名(小学3～6年生)以内、必要に応じてマネージャー1名をおくことができる【団員は同一単位団所属】 ・指導者(監督・コーチ)は認定育成員または認定員であること ・指導者のうち1名は、公益財団法人日本体育協会公認バレーボール指導員、同上級指導員、同コーチ及び同上級コーチ有資格者、又は公益財団法人日本バレーボール協会ならびに日本小学生バレーボール連盟が共催する全国小学生バレーボール指導者研修会の受講証明書(指導者認定証)を所持していること ・マネージャーは指導者又は団員とする ・参加チーム数 女子:全国48チーム 計720名 (47都道府県および開催県から選出) 男子:全国10チーム 計150名 (全国9ブロックおよび開催県から選出) ・参加料は無料 ・交通費は自己負担 ・宿泊費、食事代は主催者負担 ・参加者は交歓記念品として500円程度の民芸品を準備 |
| 5) 第40回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 —助成— 平成30年8月3日(金)～6日(月) | 富山県・小矢部市 小矢部ホッケー場 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度スポーツ少年団及び日本ホッケー協会の登録を完了した者 ・チーム編成:指導者3名、団員12名(小学4～6年生)以内 ・参加を希望する登録単位団から男女各1チーム ・参加料は1人 2,000円 ・交通費、宿泊費は自己負担 |
| 6) ブロックスポーツ少年大会 —組織整備強化(助成)— 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日) | 各ブロックにて実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・各ブロックにおいて実施要項を作成 ・参加者は平成30年度スポーツ少年団登録団員・指導者であること |
| 7) ブロック競技別交流大会 —組織整備強化(助成)— 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日) | 各ブロックにて実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・各ブロックにおいて実施要項を作成(原則として4競技以上) ・参加者は平成30年度スポーツ少年団登録団員・指導者であること |

*公益財団法人日本サッカー協会と日本スポーツ少年団共催の「JFA 第42回全日本U-12サッカー選手権大会」は、平成30年12月下旬に鹿児島県にて開催。

5. 国際交流

| 内容・開催期間等 | 開催場所 | 参加対象・参加条件・経費等 |
|---|--|--|
| 1) 第45回日独スポーツ少年団同時交流(派遣) 平成30年7月31日(火)～8月17日(金) 【平成30年7月30日(月) 結団式】 <事前研修会> 平成30年5月3日(木)～5日(土)【指導者】 平成30年5月4日(金)～5日(土)【団員】 | ドイツ各地 東京都・ 国立オリンピック記念青少年総合センター | ・派遣者数:125名(団長団3名、グループ指導者12名を含む) ・平成29・30年度登録団員で、以下のいずれかの条件を満たす16～24歳までの者 * シニア・リーダー認定者 * 所定の活動単位の合計が20単位以上の者 * 所属道府県スポーツ少年団本部長が特別に認めた者 ・指導者は、認定育成員または認定員の資格を有する65歳程度までの者 ・派遣負担金は、1人25万円(渡航費、ドイツ滞在費、ユニフォーム、海外旅行保険料等を含む) |
| 2) 第45回日独スポーツ少年団同時交流(受入) 平成30年7月24日(火)～8月9日(木) 全体プログラム(前半):7月24日(火)～26日(木) 地方プログラム:7月26日(木)～8月7日(火) 全体プログラム(後半):8月7日(火)～9日(木) | 日本各地 | ・受入者数125名 ・全体プログラム期間中は、日本スポーツ少年団が担当 ・地方プログラム経費は各道府県負担(通訳謝金除く) ・各グループの地方分散・東京集結経費は日本スポーツ少年団が負担 ・団長団の視察は、西日本Ⅰ(東海・近畿Ⅰ・近畿Ⅱ・中国)を予定 |
| 3) 2018年日独青少年指導者セミナー(派遣) 平成30年10月7日(日)～20日(土) 【母国発着14日間】 <事前研修会> 平成30年9月8日(土)・9日(日) | ドイツ各地 東京都・岸記念体育会館 | ・日本スポーツ少年団認定育成員または認定員の資格を有する者、もしくは、都道府県・市区町村スポーツ少年団事務担当者で原則として50歳までの者7名 ・派遣負担金は1人10万円 |
| 4) 2018年日独青少年指導者セミナー(受入) 平成30年11月3日(土)～15日(木) 【母国発着14日間】 | 北海道・東北ブロック、東京都 | ・ドイツスポーツニューエージェント指導者7名を受入 |
| 5) 2018年日中青少年スポーツ団員交流(派遣) 平成30年8月5日(日)～11日(土) 【7日間】 <事前研修会> 平成30年6月30日(土) 島根県 平成30年7月1日(日) 福岡県 | 中国・湖北省 | ・指導者8名(団長団含む)、団員32名 (中国・四国・九州ブロックから合同で派遣) ・指導者は認定育成員・認定員の資格を有する者 ・派遣負担金は1人1万円 |
| 6) 2018年日中青少年スポーツ指導者交流(派遣) 平成30年10月(予定) 【10日間】 | 中国 | ・認定育成員・認定員の資格を有する45歳程度までの者10名(うち団長団2名) 都道府県・市区町村スポーツ少年団事務担当者 ・派遣負担金は1人10万円 |

6. 広報出版

| 発行・作成物 | 配布先等 |
|--|--|
| 1) 豊かなスポーツライフをサポートする情報誌 「Sport Japan」の発行 | ・単位スポーツ少年団に2冊 ・都道府県、市区町村スポーツ少年団に2冊配布 ・年6回発行(奇数月10日発行) |
| 2) ガイドブック 「スポーツ少年団とは」の作成・配布 | ・スポーツ少年団のガイドブック及び育成母集団研修会用教材として発行 ・都道府県スポーツ少年団を通じ、市区町村スポーツ少年団他、関係者に配布 |
| 3) スポーツ少年団「PRフリーレット」の作成(PDF) | ・スポーツ少年団PR用としてPDFデータを作成し、ホームページ上で公開 |
| 4) スポーツ少年団年鑑の作成 「スポーツ少年団活動報告書」の作成・配布 | ・平成29年度の諸活動をまとめた報告書を作成、都道府県に配布 |
| 5) スポーツ少年団指導必携書の作成・配布 | ・平成30年度に新規に認定員、認定育成員の資格を取得した者及び認定育成員研修会修了者に配布 |
| 6) リーダー育成マニュアルの作成(PDF) | ・ジュニア・リーダーおよびシニア・リーダー育成の手引書としてPDFデータを作成し、ホームページ上で公開 |
| 7) 広報活動ガイドの公開 | ・日本体育協会ホームページ上で公開 |
| 8) 「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」 ガイドブックの作成・販売 | ・有料販売を実施 |
| 9) スポーツ少年団検索ページの運用 | ・日本体育協会ホームページの各級スポーツ少年団情報を検索できるページを運用 |

7. 少年団顕彰

| 内容 | 詳細 |
|--------|--|
| ・少年団顕彰 | * 日本スポーツ少年団顕彰要綱・同施行基準に基づき、都道府県スポーツ少年団の推薦によって、永年にわたり少年団の発展に貢献し特に顕著な功績がある市区町村スポーツ少年団と登録指導者を表彰、退任指導者に感謝状を贈呈 |

8. 研究調査

| 会議名等 | 詳細 |
|---------------------|---|
| 1) 専門部会 | * 指導育成、広報普及、活動開発の3専門部会を中心とした具体的諸検討作業の実施。3部会各4回開催 |
| 2) プロジェクト・ワーキンググループ | * 青少年スポーツ振興プロジェクト * スポーツ安全対策プロジェクト * リーダー養成ワーキンググループ * 幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及ワーキンググループ * スポーツ少年団運動適性テスト検討ワーキンググループ * その他スポーツ少年団育成に係る研究、検討作業 |
| 3) 研究調査 | * 「少年スポーツのあり方」関連の各種研究調査 * 「日本スポーツ少年団第10次育成6か年計画-アクションプラン2017-」の遂行に必要な各種調査 * 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みに係る各種研究調査 |

9. スポーツ活動サポートキャンペーン—大塚製薬(株)特別協賛—

| 内容 | 詳細 |
|------------------------------|--|
| 1) スポーツ少年団認定員養成講習会での熱中症対策説明会 | * 認定員養成講習会時に熱中症対策に関する情報を提供(ガイドブックの配布・解説、DVDの上映等) |
| 2) ポカリスエット・スポーツ活動情報提供 | * 単位団の指導者、育成母集団、保護者を対象に熱中症対策説明会を開催し、熱中症対策に関する情報を提供 |
| 3) 熱中症予防グッズのスポーツ少年団用斡旋販売 | * 日本スポーツ少年団推奨スポーツドリンク等を登録団に対して斡旋販売 |
| 4) 「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」啓発強化 | * 市区町村主催の指導者向け研修会等での熱中症対策説明会の提案・実施(予定) |

10. 組織整備強化

| 内容 | 詳細 |
|---|---|
| 1) 都道府県関係組織整備強化費 | * 登録実績を基準に、基礎配分+登録数配分で各都道府県へ助成 実施要項に基づく、次の内容に充当 ・都道府県スポーツ少年団強化育成費 県内研修(指導者、リーダー、母集団等)、ジュニア・リーダー養成等 ・都道府県スポーツ少年団強化育成及び管理費 指導者組織/リーダー組織の育成援助、県内組織の強化に関する運営管理、登録処理・管理等 ・ブロック会議(出席旅費) |
| 2) ブロック関係組織整備強化費 | * 該当県に対し、定額助成 ブロック指導者研究協議会費/ブロック会議開催費/日本スポーツ少年団常任委員会出席旅費 全国大会準備費(全国大会、全国競技別交流大会) |
| 3) ブロック大会開催費(競技別交流大会・少年大会) ① ブロックスポーツ少年大会 ② ブロック競技別交流大会 | * 全国9ブロック 1県10万円 4競技以上実施 1県1競技10万×4競技=40万円 |
| 4) ブロックリーダー研究大会開催費 | * ブロック内リーダー代表等の研修 全国8ブロック (@5万円×50県) |

11. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた取組み

| 内容 | 詳細 |
|-----------------------------|---|
| 1) フェアプレーの推進 ◇2020年までの取組み | * 「フェアプレー宣言」の奨励 * 「フェアプレー大賞」参画の奨励 * 「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」の推進 |
| 2) 全国スポーツ少年団活動 ◇2020年までの取組み | * 全国一斉活動の実施 * 平和メッセージ・スローガンの募集 |
| 3) オリ・パラへの参画 ◇2020年の取組み | * 大会開催年に全国各地で実施される大会セレモニーや大会運営にスポーツ少年団が参画できるよう、関係機関等に対して働きかけを行う |
| 4) 組織基盤整備 ◇2020年以降を見据えた取組み | * 登録システムの改修・連携 * 地域スポーツクラブとしての組織基盤の充実 * スポーツ少年団活動への総合型地域スポーツクラブ関係者の参加促進 |

12. その他

| 内容 | 詳細 |
|-----------------------|---|
| 1) 体力テスト実施普及 | * 運動適性テスト関係グッズ及び集計プログラムの頒布 (テスト実施要項、合格章1~5級・敢闘賞、合格メダル1~3級、集計プログラム) * ホームページによる運動適性テストの集計結果の公表 |
| 2) 登録認定関係 | * 団旗、登録認定関係資料の作成・配布 * スポーツ少年団登録システムによる登録データの管理業務 |
| 3) 都道府県スポーツ少年団事務担当者会議 | * 当該年度に係わる事務手続きの円滑化のため開催 |
| 4) 暴力行為根絶に向けた取組み | * 暴力行為根絶に向けた周知啓発等 |

* ブロック会議 北海道・東北(岩手県)、関東(山梨県)、北信越・東海(富山県)、近畿(兵庫県)、中国・四国(山口県)、九州(大分県)